

誘拐防止教室（1年生）



5月16日（水）の3校時に、警察の方に来ていただき、1年生の誘拐防止教室を行いました。不審者事案や誘拐殺人事件などが世間を騒がすことがあり、社会には漠然とした不安感が高まっていると感じます。児童の危機回避能力の育成も重要な教育課題になってきています。今回は誘拐から身を守る方法や、そうならないために日頃から気をつけるべきことについて、丁寧にわかりやすく教えていただきました。集中して学習に取り組む1年生の姿に、警察の方も感心しておられました。これからの生活の中で、今日学んだことを生かして行ってほしいと思います。

5月22日（火）の全校朝礼で話したこと

もうすぐ玉江大会です。選手の人も、応援の人もしっかり頑張っていますね。選手の皆さん、選手に選ばれておめでとうございます。走る力、跳ぶ力、投げる力などが優れていたから、選手に選ばれたのです。自分の得意なところがわかって良かったですね。これからも是非それを伸ばしていきましょう。そして、大事な仲間が頑張ります。応援団の皆さんも全力で応援してください。全力で応援できるということは、友達の幸せを願えるというすごい力があるということです。『ひとにやさしくできる子』に育っている証拠です。その力は選手をすごく元気づけてくれます。

3年生以下の皆さんはミニ玉江大会ですね。毎年、とてもいい大会になると聞いています。今年も3年生を中心に頑張ってください。皆さんが頑張ると、それはきっと4年生以上のお兄さんお姉さんに伝わります。3年生以下みんなが学校で頑張っているんだと思うだけで、お兄さんお姉さんは力が湧いてくるのです。大きな支えになります。

今回の玉江大会で学んでほしいことは絆です。江津東小学校の仲間の強い絆を感じてほしいということです。強い絆は表面的な『おつきあい』では生まれません。心と心のふれあいができなくては生まれません。大会が終わってから、お互いに感謝や尊敬の思いを持てるようになったかどうかが大事です。そうなったら、結果の良し悪しに関わらず、きっと幸せな瞬間を味わえると思います。それを目指して頑張ってください。

さて、今日は『ふれあいとつきあい』について話します。ふれあいは相手の心を大切にしたり、相手の心をわかろうとしたときに起こります。ふれあいは人を元気づけ、人生をより豊かなものにしてくれます。秘訣は主人公の道を歩くということです。

職員室劇団による劇

ロールプレイ（ふれあいとつきあい）

★被害者の道を歩いている人の見方 ☆主人公の道を歩いている人の見方

○失敗して悲しんでいるときに「きっと大丈夫だから…」と慰められた。

A：あ～、もう大失敗しちゃった。こんなこと人には相談できないし、もう最悪だ。

B：どうしたの？何かあったの？

A：ううん。何でもなしよ。（暗い表情で）

B：そう？何か心配だな。でも元気出して。きっと大丈夫だから…。

こんな会話から↓

★何が、大丈夫だ。人の気も知らないで、いい加減なこと言うなよ。→Bの気持ち：元気づけようとしただけなのに私が悪いみたい。話しかけるんじゃないから。→つきあいのパターン。似たようなことがあったら、気持ちを受け取ってもらえないから、話しかけるのはやめようかな。話しかけるにしても言い方に気をつけなくっちゃ。

☆ そうだよ。きつと大丈夫だよ。ありがとう。→Bの気持ち：元気になるってねという気持ちをわかってもらって良かった。声をかけて良かった。→Aへの気持ち：辛いだろうけど、そんな時でも心を受け取ってもらえる素敵な人だな。

★ (不機嫌そうに) はいはい！わかったわかった！ありがとうね！→Bの気持ち：元気づけようとしただけなのに、すごく気分悪い。八つ当たりするなんて。もう話しかけないぞ。→つきあいのパターン状、似たようなことがあったら、気づかないふりをして、できるだけ、話しかけないぞ。話しかけるにしても、気持ちに関係ない別の話題を話そう。

☆ そう言われても、なかなか大丈夫とは思えないけど…。心配してくれてありがとう。→Bの気持ち：そうだよね。でも心配していることはわかってもらえた。良かった。→Aへの気持ち：私の言葉ぐらいで楽になるとは思わないけど。何か話しかけたくって。放っておけなかった。自分の気持ちも話してくれて正直な人だなと思う。そして私の気持ちも大事にしてくれる素敵な人だ。早く元気になるって欲しい。力になりたい。

★ うん、ありがとう (表面的な言い方) ……(他の人に) ○○ちゃんは、いい加減なこと言う人だよ。何も知らないくせに「大丈夫」だなんて。嫌になっちゃう。(被害者の道を踏み越えて悪口を言う加害者になってしまっている) →Bの気持ち：元気づけようとしただけなのに、それで悪口を言われるなんて。とっても傷ついた。もうこんな人とは友達になりたくない。→つきあいのパターン状、似たようなことがあったら、気づかないふりをしよう。さわらぬ神にたたりなし。悪口のネタにされるような関わりは避けよう。恐いのであまり仲良くなならないように、距離を取ろう。

☆ ありがとう。また話せる時が来たら相談にのってくれる？→Bの気持ち：元気になるってねという気持ちをわかってもらって良かった。力になれるならできることをするよ。→Aへの気持ち：話しかけて良かった。いつか相談してくれるかもしれない。私のことを信じてくれたんだ。正直な人だな。そして気持ちを大事にしてくれる素敵な人だ。早く元気になるってほしい。力になりたい。相談してくれるのを待っているよ。

★ は気持ちを受け取っていない。言い方や表面的な言葉の意味などに不満を持っている。

☆ は相手の気持ちを大事にして、Bとの絆を強くしている。(ふれあい)

※ ここで大切な点は、声をかけた人の気持ちが本当に温かいものであるかどうかです。皮肉などの攻撃する気持ちを感じたなら、無理する必要はありません。そっと距離を取ったり、信頼できる人に相談したりしましょう。そして、上手におつきあいをしましょう。社会的なおつきあいもとても大切なのですから。そのうちまた、ふれあえるチャンスがくると思います。

※ 『贈り物は贈る方よりも、贈られる方がより多くの愛を必要とする』(言葉も贈り物です) 優しい気持ちや人を信じる気持ちがあればあるほど、主人公の道を歩くことができ、相手の気持ちを大切にできます。そしてふれあいも増えてきます。

相手の正直な温かい気持ちを、言い方(表現方法・タイミングなど)のせいにして受け取らないのは、贈り物にケチをつけているのと同じです。お釈迦様が話されました。同じ水を飲んでも、牛はミルクを出し、蛇は毒を出す。被害者の人生を選んで蛇のように毒を出し、不幸になるのは止めましょう。ミルクを出すのが主人公の人生、毒を出すのが被害者の人生です。様々な出来事の中で、人の気持ちを大事にし、感謝に変え、ミルクを出しましょう。みんな主人公の人生を歩んで幸せになりましょう。

玉江少年体育大会 (4～6年生)



5月26日(土)には晴天のもと第93回玉江少年体育大会が開催されました。保護者の皆様には、テントの運搬・設置、応援等で大変お世話になりました。大変ありがとうございます。

ございました。今回は、特に『絆を大切に』ということ意識してほしいと願い、指導の重点に置きました。結果の良し悪しにこだわり過ぎず、それまでの過程や関わり合った仲間の気持ち、ミニ玉江大会で頑張っている下級生にも心を向け、江津東小学校の仲間としての一体感をもって取り組んでほしいと願っていました。応援団もとても頑張ってくれました。今回の大会での経験について、子どもたちそれぞれが積極的な意味を見出してほしいと思います。結果に満足できる子もそうでない子もいると思いますが、力を振り絞り、友達と励まし合いながら、選手も応援団も江津東小学校の仲間として一体感をもって頑張れたということが重要だと思います。大会当日だけではなく、これまでの練習の過程、友達からの温かい応援、様々なものから学んだことは沢山あると思います。きっと『絆』についても、それぞれの子どもたちなりに自分の考えを深めてくれたのではないのでしょうか。それらの学びをこれからの生活に生かして行ってほしいと願っています。



ミニ玉江大会（1～3年生）

玉江少年体育大会の日に、3年生以下の児童はミニ玉江大会を開きました。3年生がリーダーになり、大会運営をしました。保護者の方々もたくさん見に来てくださり、子どもたちは張り切ってがんばることができました。どの子どもも達成感をしっかりと味わうことができ、大きな成長のステップにできたと思います。大変ありがとうございました。



PTA環境整備作業 ありがとうございました

6月1日（金）夕刻より、仕事の疲れの残る中、学校の環境整備をしていただき、本当にありがとうございました。教育環境をきれいにしていただいたことで、子ども達の学習活動、学校生活が一層充実することだろうと思います。学校のためにご協力をいただき大変ありがとうございました。感謝です。

プール掃除

6月4日（月）に、プール掃除をしました。4年生以上の児童が3・4校時を使って行いました。プールの底は6年生がきれいに磨いてくれました。プール開きに向けてプール周りの掃除など全校で手分けをしてきれいにしました。楽しく安全に水泳学習に取り組んでほしいと思います。



赤ちゃん登校日（5年生）

2回目の赤ちゃん登校日が、6月5日（火）にありました。子どもたちはこの日を大変楽しみにしていました。優しく思いやりをもって、赤ちゃんに関わる子どもたちの表情から、素直さや優しさが伝わってきました。だっこをしたり、おんぶをしたり、絵本の読み聞かせをしたりと、様々な活動を通して赤ちゃんやその保護者の方とふれあ



う中で、本当に大切なことを体験的に学ぶことができたと感じました。今回は5年生みんなが、自分の親からの手紙をもらいました。大切に育てられている赤ちゃんを目の前にしながら、自分自身が赤ちゃんの頃から大切に育てられてきたことを思い出し、重ね合わせ、自分の親や家族に対する感謝の思いを強くしたのではないかと思います。いよいよ次回【7月6日（金）9時30分開始】は最終回です。感謝の心や違いを認め合うことの大切さ、



人や自分自身の良さを見つけることや愛情の大切さなど、高塚先生から教えて頂いたメッセージを日常生活で生かし、最終回に向けて頑張りたいと思います。また、今回も沢山の方々に見学に来て

て頂きました。ありがとうございました。次回もご都合が良ければ、是非見学に来て頂きますようお願いいたします。

コミュニケーション講座（4年生）



4年生は6月5日（火）の5・6校時に、高塚先生の指導でコミュニケーションについての学習をしました。楽しいゲームを通して、コミュニケーションの大切なポイントを体験的に学びました。子どもたちはとても良い表情をしていました。来年度は赤ちゃん登校日で学習する予定です。今回の学習を日常生活で生かし、しっかりとコミュニケーション能力を身につけていってほしいと思います。



修学旅行（6年生）



6年生は6月7日（木）8日（金）と修学旅行に行きました。スペースワールドがなくなり、例年の旅程と違うものになりましたが、道中のマナー、5分前行動、友達との協力等、様々な面ではじめをもって行動でき、とても楽しそうに

活動していました。本当に安心感をもちながら引率できました。子ども達にとって、素敵な思い出になることでしょうか。添乗員の方から、フェリーで自然に席を譲ったり、外国人観光客に積極的に声がけをしたりする姿に感心したと言われ、嬉しく思いました。この旅行で学んだことを、今後の生活にしっかりと生かしていってほしいと思います。